

長野地方最低賃金審議会会議公開要綱

- 第1条 この要綱は、長野地方最低賃金審議会の本審議会及び専門部会の会議（以下「審議会等」という。）の公開に関し長野地方最低賃金審議会運営規程（以下「運営規程」という。）及び専門部会運営規程（以下「部会運営規程」という。）の定めによるほか、その具体的な取扱いについて定める。
- 第2条 会議の公開又は非公開の決定は運営規程及び部会運営規程に基づき、審議会等において行う。
- 第3条 公開する審議会等の開催日時、場所及び傍聴人の募集については、審議会等の開催日の14日前（審議会日程により、異なる場合もある。）に、長野労働局において掲示する。
- 第4条 審議会等の傍聴を希望する者は、審議会等の開催日の6日前（審議会日程により、異なる場合もある。）までに、はがき又はファクシミリにより労働基準部賃金室あてに申込みものとする。
- 2 介助者が必要な場合には、申込書にその旨及び介助者の氏名を記入するものとする。
- 第5条 傍聴者は、原則として5名以下とする。
- 2 傍聴を希望する者がこの数を超える場合は、抽選とする。
 - 3 抽選結果については、当選者にはがきで通知する。ただし、緊急の場合は電話で通知することができる。
 - 4 傍聴は申込者（抽選の場合は当選者）本人のみとする。ただし、前条に規定する介助者についてはこれを認める。
- 第6条 公開する審議会等ごとに傍聴人名簿を作成する。
- 第7条 傍聴者には、傍聴整理券を発行する。
- 2 傍聴人は、審議会等開始の10分前までに来場し、入場については会長等の指示によるものとする。
 - 3 傍聴人には、審議会等傍聴に当たっての遵守事項を周知させるものとする

第8条 審議中に、審議会傍聴に当たっての遵守事項に反する行為があれば、違反者に対し会長乃至部会長から是正を求め、従わない場合は退去を求めるとする。

2 退去要求に従わず審議の妨害を続ける場合は、会長乃至部会長から退去命令を発出する。

3 退去命令にも従わない場合には、所轄警察署へ連絡し強制排除を行うこととする。

第9条 審議会等の会議を公開する場合には、第4条及び第5条の規程にかかわらず、報道関係者については席が許す限り取材を認めることとする。この場合であっても撮影及び録音は、審議会開始直前までとする。

第10条 この要綱に定めるもののほか、審議会等の会議の公開に関し必要な事項は、審議会等に諮って会長又は部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月4日から施行する。

審議会等の公開・非公開について

※本別紙は、平成23年6月20日付で長野県地方最低賃金審議会運営問題小委員会委員長から提言し、平成23年7月4日に開催された第48期長野地方最低賃金審議会第2回総会において了承された審議会等の公開・非公開を決定するに際し尊重するもので、平成28年6月16日及び平成29年6月19日に修正されている。

- 1 次に掲げる審議が行われる審議会は、原則非公開とする。
 - (1) 具体的な金額を議論する審議
 - (2) 個人等からの意見聴取を含む審議
 - (3) 運営に関する事項を含む審議
 - (4) その他公開することによって率直な意見交換若しくは意思決定の中立性が損なわれるおそれのある審議

- 2 個別の審議会等の具体的取扱い
 - (1) 長野地方最低賃金審議会（総会）について
公開とする。ただし、最低賃金の決定等について審議会の意見（答申）に対しての異議の申出に関する審議会（最賃法第11条第3項―異議審）は金額審議を含む審議のため非公開とする。
 - (2) 長野県最低賃金専門部会、特定最低賃金専門部会について
第1回部会は公開とし、第2回以降は金額審議を含む審議となるため非公開とする。
 - (3) 運営問題小委員会、特定最低賃金検討小委員会について
公開することによって率直な意見交換が損なわれるおそれがあるため非公開とする。

- 3 報道機関への広報等について
 - (1) 事前に報道機関へ公表するもの
長野県最低賃金の改正諮問が行われる総会の開催。
長野県最低賃金の金額採決（答申）の総会の開催。
 - (2) 事後に報道機関へ公表するもの
 - ア 長野県最低賃金、特定最低賃金の諮問。
 - イ 長野県最低賃金、特定最低賃金の答申。

(3) 公表方法

報道機関へのファクシミリ送信（投げ込み）を原則とする。

4 その他の留意点

- (1) 金額の採決を行う総会において、会長が専門部会における労使双方の主張の要旨の説明を行う。
- (2) 非公開審議会等であっても、開催日時、場所、議題について公開することを妨げるものでないこと。
- (3) 会議途中からの公開又は非公開は、行わないものとする。